

# 川崎地区交通安全大会

主催 神奈川県教育委員会  
県立高等学校等交通安全教育推進協議会  
神奈川県立高等学校PTA連合会川崎地区協議会  
協賛 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会  
後援 神奈川県立学校長会

- 1 テーマ 「伸びる“横幅” 縮まる命」
- 2 日時 令和5年11月7日(火) 13:20~16:00
- 3 会場 宮前市民館 大ホール
- 4 参加者数 273名
- 5 次第

(1) 開会の言葉

須藤 花音 さん(百合丘高等学校)

(2) 主催者挨拶

川崎地区交通安全教育実行委員会委員長  
千葉 美希子 麻生総合高等学校校長  
高P連川崎地区交通安全対策会議代表  
斉藤 ナオミ 麻生総合高等学校PTA会長

(3) 来賓等挨拶・紹介

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会  
反町 聡之 様 常務理事  
神奈川県立学校長会議地区別会議川崎地区会長  
野田 麻由美 様 多摩高等学校校長  
教育局指導部保健体育課  
松野 明 様 専任主幹(主催者)

(4) 安全講話 講師

南雲 雄一 様(麻生警察署交通課)  
小幡 道博 様(神奈川県警本部交通捜査課暴走族対策室)

(5) 交通安全ポスター表彰

最優秀賞 早川 凜優 さん(麻生高等学校2年)  
優秀賞 星 優希 さん(大師高等学校3年)  
長沼 由翔 さん(麻生高等学校2年)  
佳作 加畑 智歩子 さん(多摩高等学校1年)  
山本 勘平 さん(麻生高等学校1年)  
藤田 凜音 さん(麻生総合高等学校2年)

(6) 研究発表 PTAによる交通安全に係る発表

生田東高等学校PTA  
麻生総合高等学校PTA

(7) 発表

歌・ダンス 生田高等学校  
観客参加型クイズ 川崎工科高等学校  
観客参加型クイズ 麻生高等学校  
番組型クイズ 住吉高等学校  
研究発表 菅高等学校  
寸劇 百合丘高等学校  
番組型クイズ 麻生総合高等学校

(8) 大会宣言

世古 創之介 さん(生徒実行委員会委員長、菅高等学校)

(9) 講評

教育局指導部保健体育課  
松野 明 様 専任主幹

(10) 閉会の言葉

堀本 辰矢 さん(多摩高等学校)



主催者挨拶



来賓挨拶



表彰の様子



## 安全講話

講師：麻生警察署交通課  
南雲 雄一 様



川崎地区交通安全大会の開催、誠にありがとうございます。

この度は貴重な時間を頂き、高校生が関係する県内や川崎市内の交通事故の特徴や、道路交通法の改正点、交通事故防止についてお話しします。

川崎市内の高校生が関係する交通事故で最も多い交通事故は、自転車が関係する交通事故です。二輪が関係する交通事故もあり、原付より排気量が大きいオートバイの交通事故の方が多く発生しています。過去5年をさかのぼって調べると、二輪乗車中に交通事故に遭い、亡くなられた方もいます。歩行中の交通事故も決して少なくはありませんが、特に多かった自転車交通事故から伝えます。

自転車は道路交通法上『軽車両』に分類され、車両の仲間です。運転免許の取得を要しなくとも、道路で自転車を運転するにあたり『道路交通法』を知らないでは済まされません。

まず、自転車を利用する際に自転車の点検・確認を必ず行ってください。確認項目は

- ・ブレーキはちゃんと効くか？壊れていないか？
- ・タイヤの溝や空気圧、パンクはしていないか？
- ・ライトはちゃんと点灯するか？
- ・反射板は割れていたり、汚れていたりしていないか？
- ・足の着く高さにサドルは調整されているか？

など確認して、安全に自転車を利用してください。

自転車の運転手が法令を守らずに第一当事者（交通事故を起こしてしまう立場）になる交通事故として、右側通行、歩道通行時の歩行者との接触事故が日立ちます。

自転車の運転者が交通事故に遭ってしまう第二当事者等では、単路よりも交差点・交差

点付近での交通事故が多く発生しています。自動車の運転手は、自転車の接近に気付いているようで気付いていないと思い、

- ・走行中の車両に巻き込まれないように
- ・車両の死角に入らないように

と十分に気を付けて、ルールを守って乗ってください。

自転車の乗車用ヘルメットの着用についてですが、今年の4月に法改正され、全ての自転車利用者が『自転車乗車用ヘルメットの着用が努力義務化』されました。自動車は鉄の塊に囲われているため、小さな交通事故で乗車している人が大きな怪我をすることは少ないですが、自転車やオートバイは生身の体で運転しているので、小さな交通事故でも大きな怪我につながります。自転車乗車中の交通事故で亡くなられた方の約7割が、頭部に致命傷を負っています。法改正の趣旨をよく理解して、自転車乗車用ヘルメットを着用し、安全に自転車を利用してください。

自転車損害賠償責任保険については、2019年4月から本県でも条例で定められ、保険加入が義務化されました。自転車交通事故により多額の損害賠償事例もあります。高校生が自分で自転車保険に加入している人は少ないと思いますが、親や家族等に『自転車保険にちゃんと入っているか？保険の期限は切れていないか？』と、必ず確認をしてください。

次に二輪交通事故防止について話をします。二輪や原付の運転免許を取得して、運転している方もいるかとは思いますが、県内では二輪の交通事故が、全国平均の2倍発生しています。ヘルメットを正しく着用して、ルールを守って、無理のない運転をしてください。

県警では、二輪車交通事故防止に関する動画も上げているので、ぜひ参考にしてください。

二輪・原付の話に付け加えて、本年7月1日から法改正により新しい車両の区分『特定小型原動機付自転車』いわゆる電動キックボード等の創設がありました。特定小型原動機付自転車は、

- ・運転免許が不要
- ・ヘルメットの着用は努力義務
- ・16歳未満は運転禁止
- ・『特例モード』に切り替えれば、道路左側の路側帯や、歩道通行可の歩道を通行することが可能などとなります。電動キックボードをお持ちの方や、レンタル等で使用される方

は、もし何かあったときに、『法改正を知らなかった、交通ルールを知らずに運転していた。』では済まされません。法規等をよく確認をして、交通ルールを守った安全運転をお願いいたします。

最後に反射材の話をしたと思います。みなさん反射材はご存知ですか？活用されていますか？反射材にはいろいろなもの、種類があります。キーホルダー式やステッカー、タックルバンド式等のほか、スポーツメーカーではプーマやニューバランス等のロゴ、今は作

### 生田東高等学校PTAによる発表

交通安全活動に対し、令和5年度は次の3つの活動を行いました。

- 1つ目は交通安全クイズ
- 2つ目は自転車シミュレーター
- 3つ目は自転車点検

交通安全クイズは、東陵祭（文化祭）の二日間で実施しました。壁にヒントが書いてある掲示物を貼り、ヒントを探しながら交通ルールを知ってもらうようにしました。延べ380人の方が参加してくれました。

自転車シミュレーターは多摩警察署、神奈川県警さんにご協力いただき、貸していただきました。小型の自転車の前にモニターを設置し、CGの道路を表示しています。自動車等にぶつかった時は、倒れた雰囲気を出すために画面の映像が横向きに倒れます。警察官が指導してくれ、交通ルールの質問にも答えてくれました。こちらは約38名の方が体験していただきました。

自転車点検は、2、3年生と1年生の二日間に分けて実施しました。整備不良による自転車事故を少なくするために、今回新しい試みとして行いました。点検内容は、タイヤとブレーキです。依頼した自転車屋さんが点検し、PTAが点検結果をタグに記入しました。今回は190台の点検ができました。結果、およそ75%の自転車が修理を必要とすることがわかりました。その結果は学校に伝えました。生徒には、自転車がよくなったと好評でした。



(いずれも内容を省略しています。)



業服だけでなく二輪用品・アウトドア用品も多く扱うワークマンでは、交通・作業事故防止等の観点から、商品の各所に多くの反射材を活用した物が販売されています。反射材は動くものに付いていると特に効果があります。これからの時期は、暗くなる時間が早くなってきています。学生服の色は、黒茶系統の濃い色が多いので、是非、反射材を活用し、更にプライベートでは明るめの服装を着用して、交通事故防止に努めてください。

### 麻生総合高校PTAによる発表

麻生総合高校 P T A では年次委員会という委員会が主体となり、交通安全の啓発活動を行っております。

初めに、毎年5月に行っている自転車点検です。外部より自転車業者さんを招き、自転車通学の生徒の自転車を点検してもらっております。今年度は約50台の自転車を点検してもらい、比較的、整備されている印象を受けました。点検結果は教員を通じて生徒へ通知をしていただいております。

次にスケアードストレイトが1年生を対象に実施されました。私たち保護者も見学させていただきましたが、スタントマンのアクションが本格的で、事故は本当に怖いと再認識いたしました。私自身、事故に遭ったことも、事故の目撃もないのですが、とても怖いと感じました。

最後に今年の文化祭での取り組みです。今年度は麻生区役所主催の元、自転車シミュレーターをメインに行い、私たち P T A もそのお手伝いをさせていただきました。麻生警察署の警察官も来校され、生徒だけではなく地域の方や、保護者も参加することができました。保護者も体験させていただきましたが、案外難しく、突然の飛び出しやトラブルには咄嗟には反応できないものだとして再認識させられました。生徒・保護者共に自転車の乗り方・交通安全を考える良い機会だったと思います。

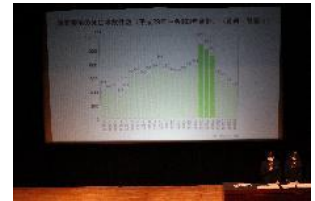
## 各校生徒による発表など

各校から、歌・ダンス、観客参加型クイズ、番組型クイズ、研究発表、寸劇、番組型クイズと、しっかりと準備され、内容の濃い発表が行われました。自転車に乗る際のヘルメット着用の努力義務化や電動キックボードについてなど、新しい事柄も取り入れ、楽しくわかりやすい発表でした。

また、生徒実行委員会委員長による力強い「大会宣言」があり、保健体育課専任主幹からの講評は一つ一つの学校の発表に丁寧に触れて、交通安全への意識を高めてくれるものでした。



発表の様子



発表の様子



発表の様子



大会宣言